

暮らし+リンク

「暮らし+リンク」は、天然住宅の情報や活動報告、皆様が持っている情報を発信し、「健康的な暮らしの交流の場」となることを目指して作ったニュースレターです。このニュースレターを通じて、皆様のお役に立てる情報をお届けしたいと思います。ぜひ、楽しんで読んでください。

ご意見、ご感想もいつでもお待ちしておりますので、ぜひ応援してください。



G 様邸お引渡し

4/4(土)G 様邸お引渡ししました

お土地探しから始まり約1年。手帳を遡ると昨年の5/3に初めてお会いしました。建て主様にしてみれば、やっと迎える待望の日でしょう。

鎌倉のG 様邸は当初から和風テイストを取り入れたいということでしたので、その目標に向かい、規格プランの中で工夫を凝らし一緒にアイデアを出し合って建てました。



和風といっても、真壁・畳の和室はありません。外観にも内装にも和の雰囲気を出せるように色選びや、エレメントをこだわりました。外観は正面を白く塗り壁にし、その他の外壁やサッシなどはブラックで統一。道路からのアプローチ部分には大きな庇を出し、ポーチをつくり、和の生活感を演出。窓には木製の格子で目隠しを。リビングの掃き出し窓には障子を取り付け、遮光・断熱をしています。その他の窓には障子に色を合わせたハニカムサーモ(断熱ブラインド)を取り付けました。お昼の日差しが柔らかく室内を照らしてくれます。完成すると、鎌倉の街並みに馴染み、それでも存在感のある佇まいになりました。完成見学会では、近所にお住まいの建て主様もお越しになられ、「今まで見た中で一番よかった」と言ってくれました。G 様にあとで伝えると小さくガッツポーズ。

G 様には、木材の産地である栗駒にも行ってもらいました。季節的に伐採した木を構造材にはできなかったのですが(冬にしか伐採できません)、木材を隅々まで利用してもらいました。木も喜んでと思います。

出会った頃からの写真を見直すと感慨深い気持ちになります。建て主様と、家を建てることでつながれたことをとても嬉しく思います。お引渡しをしてからもずっと関係性を持っていたいと思います。

天然住宅の自慢は何か?と聞かれたら、答えはたくさんあるのですが、やっぱり一番は「建て主様が皆いい人!」ということです。色々な現場を経験する職方さんとも言っていますから間違いのないでしょう。

もしこれからも同じような経験ができるならば、自ずとお客さまとの出会いが楽しみになってきます。今後も、もっと建て主様の輪を広げていきたいと思えます。(田中竜二)

目次

- G 様邸お引渡し
- 家づくりコラム～木材乾燥～
- くりこま森だより
- 今後のイベント
- 天然住宅/バンクより
- 田中優連載コラムスタート

表紙の写真は建て主1様の息子さん(3歳)です。I様ご家族には4月上旬に栗駒でご自宅の柱を伐採していただきました!

【発行元】

一般社団法人 天然住宅
〒152-0031
東京都目黒区中根1-10-18
TEL 03-5726-4226
FAX 03-3725-5652
メール info@tennen.org

■家づくりコラム ～木材乾燥～

天然住宅では木材を高温乾燥しません。

木材の乾燥方法で一般的なのは、120℃以上の温度で乾燥させる「高温乾燥」です。

高温乾燥では、木材を早く乾かすことができ、経済的です。また、反りやくるいが少なくなることから、この方法が取られることが多いのです。しかし、高温乾燥した木材では、急激に乾燥させられるため、「内部割れ」を起こす可能性があり、そうすると強度に問題があります。

また、木材は80℃を超えると細胞が変性します。高温乾燥では木材の細胞が壊れやすく、木材が持っている精油成分を溶出させてしまいます。このいわゆる「精油成分」が住宅において重要な様々な働きをしてくれています。



●木の匂い

木材にはそれぞれに特有の匂いがあります。木材の精油成分によるもので、「フィトンチッド」と呼ばれます。フィトンチッドには人に対しては、樹種によりリラックス効果を有するものや、逆に興奮効果をもたらすものがあります。杉はリラックス効果があるとされています。また、シロアリなどに対しては忌避効果があり、抗菌・防ダニ作用もあります。このように無垢材は、人が安心して快適な暮らしをするのにはとても優れた素材であり、その効果の源である「精油成分」を残せる乾燥方法をとることが重要です。

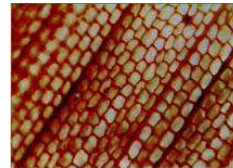
低温乾燥木材



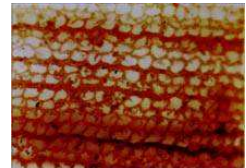
高温乾燥木材



低温乾燥木材の細胞



高温乾燥木材の細胞



木材は図のように鉄筋コンクリートと似た構造になっています。「セルロース」は鉄筋、「リグニン」はセメントのような役割をしています。「ヘミセルロース」はその2つをつなぎ合わせる役割を担っています。高温乾燥では、このセルロースが破壊され、ヘミセルロースが溶け出してしまいます。そうすると力学的な影響、つまり強度への影響が考えられます。

■くりこま森だより

木材の産地くりこまからメッセージが届きました！



チェーンソーの使い方を覚えていただき、安全講習を受け、山の神様に感謝をして伐採します。

今回は来年からエコラの森へ来る木曾馬の「琴姫」が鳴子へ一時滞在していたため、琴姫に木を森から運び出してもらいました。自分で住む家の大黒柱を自分で選び自分で伐る。家の性能だけではなく、Nさん夫妻の家造りに参加している私たち山側の人々の思いも一緒に受け止めていただきました。きっと、何世代も住み継ぐ家を作っていただけたと思います。

今回は私たちが現在取り組んでいる新月伐採の木材と馬搬での木材の搬出を行いました。「新月伐採」「馬搬」についてはまた別の機会にご紹介させていただきます。(栗駒木材・大場さん：写真左)

皆様こんにちは、天然住宅の木材の供給を担っている栗駒木材（株式会社くりこまくんえん）の大場です。今回は家を建てられるお客様を森へご案内しての伐採ツアーのお話をしたいと思います。まだまだ寒い3月の新月期にNさんご夫妻は極寒の鳴子の地へいらっしゃいました。事前に天然住宅より送られてきた図面を元にどの木を伐るか、伐採を担当しているNPO しんりんの木こりさんが森の中を探します。みなさん大抵は大黒柱を伐採します。何本かの杉の木を見立て、Nさん夫妻のフィーリングが合う樹木を選び伐採です。



※ Nさん作成の家づくり新聞を同封しましたので、ご覧ください。

■ 今後のイベント

詳細はホームページでご確認ください

■ 5/9(土) FP 内藤眞弓さんによる資金セミナー @学芸大学

「医療保険は入ってはいけない！」や「生命保険はこうして選びなさい」などの著書で有名なファイナンシャルプランナー内藤眞弓さんをお迎えしての資金セミナーです。「ライフプランと住まいの“しあわせな関係”は周到な資金計画から」をテーマにお話いただきます。10時～12時。学芸大学駅徒歩3分、天然住宅仕様でリフォームしたマンションにて開催です。

■ 5/10(日) 子供たちに手渡したい天然住宅お話し会 @モーラの家

天然住宅仕様で建てたRC賃貸住宅「モーラの家」にて、田中優による天然住宅についてのお話し会を開催します。森と住宅について、そしてエネルギーについてお話しさせていただきたいと思います。13時～15時。「志木駅」「柳瀬川駅」から徒歩。

■ 5/31(日) お住まい見学会 @浜松

静岡県浜松市でのお住まい見学会が決定しました。アンビエックスによるオーダー設計。木材は地元の天竜杉、新月伐採の木を使っています。田中優が天然住宅について講演します。13時～15時。遠州鉄道「遠州小林駅」から徒歩。

■ 6/7(日) 暮らし+リンクセミナー 天然住宅×寺田本家

昨年好評だった自然酒の酒蔵「寺田本家」の寺田優さんをお招きしてセミナーを開催します。天然住宅の田中優との講演です。会場や時間などの詳細は後日HPにアップします。

■ 6/13(土) お住まい見学会 @埼玉県鶴ヶ島市

お住まいになられて約2年半のお宅を見学させていただきます。アンビエックスによるオーダー設計。南側に広いお庭、吹き抜けから光と風邪を取り込む「やわらかい風がふく家」です。建て主様に住み心地や暮らしぶりを直接聞いてみてください。午前・午後開催予定。「鶴ヶ島駅」から徒歩。

■ 6/26(金)～28(日) 田中優と行く！皮むき間伐ツアー @宮城県・栗駒

今回も「日本の森バイオマスネットワーク」が現地での受け入れをしてくれます。皮むき間伐、田中優の講演、栗駒木材の製材所見学など、盛りだくさんの内容になっています。

■ 天然住宅バンクより

天然住宅バンク融資

まもなく天然住宅バンクから融資を受け、ご自宅をオフグリッドハウスにされる組合員のO様よりコメントをいただきましたので紹介させていただきます。最近、世間でもかなり注目を浴びているオフグリッドハウス。電力会社に頼らない暮らし、少しずつその輪が広がっています！

「この度、天然住宅バンク様の融資を受けることになりましたOです。まず、出資者の皆様、並びに融資をご許可下さった理事の皆様にご礼申し上げます。本融資は、自エネ組の独立型ソーラー発電システム設置費用に充てさせていただきます。2013年に天然住宅様に拙宅の建て直しをご依頼させていただきました。その時から電力の自給を希望していました。その後、天然住宅様から電力自給システムについて、自エネ組様や共同代表田中優様の試みについて情報が送られてきました。是非、我が家でも電力自給システムを導入したいと建て直しを担当下さった天然住宅の田中竜二様にお伝えしました。2014年末、田中様と自エネ組大塚様、瀧本様が我が家をご訪問され今に至る次第です。電力自給システム導入で「我が家の建て直しがようやく完了する」という思いを強く持っています。本システム導入後の生活を今からわくわくしながら想像し、5月中の完成(予定)が待ち遠しいです。」

※自エネ組(自給エネルギーチーム)とは、自分たちでエネルギーを自給していこうという主旨で立ち上げた組織です。日本の資源(森林、太陽光、技術)を有効に使い、出来るだけ地域で自給して、そのお金を少しでも地域経済へシフトしていけば、地域産業が生まれ、地域経済が活性化される。お金をあまり使わなくても豊かに生活出来るようになることを自エネ組は目指しています。天然住宅バンクも自エネ組のメンバーとして活動しています。(井上あいみ)

バンクよりお知らせ

天然住宅バンクでは、組合員を随時募集しています。私たちの活動に興味を持っていただけの方、まずはホームページをご覧ください。
<http://www.tennenbank.org/>

【天然住宅バンクミーティングのご案内】

■日時 5月11日(月)
午後7時～午後9時30分

■場所 新宿ASKビル4F
会議室(東京都新宿区歌舞伎町2-19-13)

■参加費 無料

■申込み先
info@tennenbank.org
まで。



■新ホームページにて田中優連載コラムスタート！

5/11(月)に天然住宅のホームページがリニューアルします。新ホームページでは、田中優の森と住まいについての連載コラムが始まります！月に3回更新予定ですので、ぜひご覧いただければと思います。ここでは、告知版として第一弾をお届けします。

「住宅と森のコラム」1.

○住むんだったら健康な家がいい

「一般社団法人 天然住宅」を設立してから8年目、ついにそのぼく自身が家を建てることになった。岡山の片田舎、山側から数えて二軒目。その奥に住む人はいない。今建て替えのために、欲しいという人にランプシェード、格子戸や建具、棚、石臼などを譲ったら、家の中はとても殺風景になっていた。



建て替え動機はやっぱり寒さと臭い、それと昆虫、動物対策だ。庭にキジやキツネ、タヌキなどが来る。それだけなら愛らしい話だが、家の中で出会うのだ。『どこまで隙間だらけの家なの？』と聞きたくなるような古民家なのだ。次の家はもちろん天然住宅仕様。暮らしは豊かではないが、建てるんだったらやっぱり森を守って健康、長持ちの住宅がいい。まだ給与を得たことはないものの天然住宅の経営者だし、今回の家もまた実験的な試みをさまざま試してみることにした。そこで、このタイミングで田中優の「住宅と森のコラム」を書いてさまざま紹介してほかにしたいのだ。

○住まう人と森を守っている人のために



天然住宅は非営利のせいか、お客様との関係がちょっと違っている。普通はモデルハウスを建ててそこを飾って見せるのが常だが、そんなものはない。逆に建て主さんをお願いして、建物を見せてもらうのだ。新築見学会や建物の構造見学会（建ててしまうと見えなくなってしまう基礎、土台や柱などを見てもらう）もあるが、『天住マニア(?)』にたまらないのが築後10年以上の住宅だ。木材は生き物だからひびも入れれば傷もつく。軋んだり、カビが生えることもある。それをそのまま見てもらい、住まい手に直接住み心地を聞いてもらうのだ。その際のやりとりが、工務店と建て主との関係に見えないと言われる。仲間のような友だちのような感じだ。中には見学会の前に大掃除が必要な人もいて、スタッフ総出で掃除することもある。

○カンナ・マジック



でも建ててくれた人たちが喜んでる姿を見るとうれしい。世間には、「儲かる」会社と「うれしい」会社があるんじゃないかな。儲かると会社は、会社はうれしいだろうが、住まい手がうれしいわけじゃない。天然住宅のスタッフの努力が報われるのは、建て主さんに喜ばれたときだ。しかしそれ以上に喜んでくれるのが山のスタッフだ。「くりこま木材」という宮城県栗原市の会社からほとんどの木材を入れているが、そこの大場さんからお願いされることがある。「ぜひ建て主さんを山に連れてきてください」と。

そこで建て主は自分の家に使う木を切り倒す経験をする。周囲を森林班のメンバーが固めた上で、お神酒を備え、祈ってお礼を伝えてから切り倒す。大きな音を立てて、木が地響きとともに倒れるとき、「カネ出せば買える」と思っていた家がそうではなくなる。「命をいただいて建てさせてもらった」家になる。キコリの彼らはそれがうれしいのだ。

カビを完全に出さないことは難しいが、出にくくすることならできる。でんぶん質の多い夏場に伐採せず、くんえん乾燥で木材を煙で燻し、木の表面をカンナがけすると出にくくなる。最後のカンナがけは不思議な工程だ。普通ならニスなど塗料を使ってしまうところだが、日本にはカンナがけという方法がある。木の細胞を押しつぶさずに薄く切ることで木の精油分が溶け出して、カビを寄せつけなくなると同時に美しく輝き始めるのだ。

「カンナ・マジックだね」

「昔の人の知恵はすごいんですよ」とくりこま木材の大場さんが言う。そんなとき、そんなマジックをもっと知りたいと思うのだ。(田中優)

天然住宅の facebook もあります。
ぜひ「いいね！」をお願いします。



天然住宅
<http://tennen.org>